
イモイチャパラダイス3!!

阿山利泰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イモイチャパラダイス3!!

【Nコード】

N7525A

【作者名】

阿山利泰

【あらすじ】

ある日、妹が帰宅してきたときのやり取り。ラブコメの王道、第三弾!!<キワドイラインギリギリの綱渡り、R-15指定でお送りします>

夏の暑いとある日に、例によって父も母もいなく俺一人で冷房をフル稼働させながら留守番をしていた。

ガチャッ！

妹が顔を火照らせて帰ってきた。

「お帰りー」

「あ！、お兄ちゃんただいまっ」

軽く挨拶を交わし、何か隠し事をしているのか、モソモソソワソワと自分の部屋に入っていく。

気になるので妹の部屋をそっとのぞいてみる。

「きゃっ」

のぞいていることにスグ気付いて妹はかわいい反応を示した。

急いでドアを無理やり閉めようとしたが、軽く力を入れてドアを開けた。

妹はドアから離れ距離をとる、小動物のような虐めたくなるような瞳で見ている。

「何を隠してるのかな？ いいじゃないか、見せろよーっ」

ほんの少しだけ顔をにやけさせる。

「ええっ、お兄ちゃん、はずかしいよぉー」

ぶるぶるぶるぶる、首を横に振った。

「いいじゃんかつ、あっ！！ UFO！！」

「引つかからないもんっ！」

頬を膨らませる。

「あっ！！ ゴキブリ！！」

「えっ？」

同じ手なのに引つかかるカワイイ妹である。

隙を見て、少し無理やり覗き見る…。

「あっ、、、」

「おお！、ちゃんと生えてるじゃん」
「ちよんちよん触ってみる。」

「あつ…だめだよお」

「これ、なつて名前だ？」

妹はすでに赤い顔をさらに赤らめた。

「マツ、マ…」

・
・
・
・
・

「マリーゴールド？」

なぜか疑問形だが、妹が持っている小さなハチに小さい芽が出ている。
いた。

「太古の昔に育てたなー懐かしい」

「クラスで私のだけ小さくって、はずかしいよー」

この後、一緒に小さいハチから庭へ移してやった。

（後書き）

一応予告していた、第三弾。予定ではこの辺でこの作品から足を洗おうと思っていたんですが…

案外好評？のため続けさせていただきますが。

なにぶん、作者の直感頼りなので、どのくらい続くか分かりませんが、しかしこの作品を好いてくれる人が居る限り続けたいとは思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7525a/>

イモイチャパラダイス3!!

2010年10月20日17時50分発行